

今週のビルマのニュース
2010年1月8日【1001号】

今年中に20年ぶりの総選挙～投票日は10月10日？

・軍政トップ・タンシュエ将軍は独立記念日（4日）に国営紙に掲載されたメッセージの中で、今年予定している総選挙で「正しい選択」をするよう国民に呼びかけた。選挙の日程などは未公表だが、朝日新聞は軍政筋の話として「4月前後に選挙法や政党法等を公表、10月10日に投票」の軸で調整が進んでいると報じた（7日朝日新聞ほか）。

岡田外相「ミャンマー政府にしっかりと努力してほしい」

・岡田外相は12月29日の記者会見でビルマについての質問に答え、民主化運動指導者アウンサンスーチー氏が選挙前に解放されることは「公正で開かれた選挙が行われるということの一つの具体的な話だとミャンマー政府に伝えている。選挙が開かれた公正なものになるようにしっかりとミャンマー政府に努力してもらいたい」と述べた。また同国訪問については「行って意味のあるのなら行くことはやぶさかではない」と述べた（12月29日外務省）。

選挙対策？ 公務員給与と携帯電話通話料を上げ

・軍政が1月31日から下中級の公務員の給与を一律2万チャット（実勢レートで約1900円）引き上げることが明らかになった。軍政筋は今回の措置は物価上昇への対応だとしているが、総選挙を前に軍政への支持取り付けを狙ったとの見方もある。月給10万チャット以上の公務員は対象外（4日APほか）。

・ビルマの携帯電話の通話料が1分25チャット（実勢レートで約2.3円）から50チャットに上がり、国民の間で不満が出ている（4日イラワディ）。

地下施設情報をリークした軍政関係者2人に死刑判決

・2006年と2008年に軍政関係者が秘密裏に北朝鮮とロシアを訪れたことや、北朝鮮がビルマで建設した地下施設についての情報を外部に漏らしたとして、元陸軍少佐と外務省職員の2人が死刑判決を受けた。近年、ビルマで死刑の執行はない（7日BBC）。

国内の様子を取材・撮影した映像記者に禁固20年

・亡命メディア「ビルマ民主の声（DVB）」に映像を提供していた記者のフラフラウィン氏（女性）が12月31日、マグウェ管区の裁判所で20年の禁固刑判決を宣告された。氏は昨秋、取材の帰りに逮捕され、既に禁固7年に服役中（5日国境なき医師団）。

映画「Burma VJ」が米製作者組合（PGA）賞候補

・2007年9月の僧侶によるデモの様子などを撮影し、DVBを通じて世界に発信した映像記者（VJ）を追ったドキュメンタリー映画「Burma VJ」が、アメリカ製作者組合（PGA）賞ドキュメンタリー部門の候補（10作品）に選ばれた（5日PGA）。同作品はアカデミー賞候補のショートリストにも入っている。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など
新たな発表はなし

イベント情報

・在日ビルマ人共同行動実行委員会 国連事務総長に対しスーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう求めるアピール行動（国連大学前、6～8日・12～15日 15～16時）

・セミナー「わたしたちの社会の在り方を考える～在日ビルマ人難民とともに」講師：田辺寿夫（フリージャーナリスト）、大瀧妙子（在日ビルマ難民たすけあいの会会長）、オーマートウイン（ビルマ人）主催など：成蹊大学サークル人権学ほか（成蹊大学8号館301教室、9日18時半～）

・第62回カチン州の日の式典 主催：カチン州の日式典実行委員会・在日カチン民族民主化運動（みらい座池袋豊島公会堂、10日18時～）

・アウンサンスーチーさんと全ての政治囚の釈放を求めるデモ行進 主催：全ビルマ学生連盟（11日、恵比寿公園14時から集会・14時半デモ行進開始）

・公開セミナー「検証：ODAを問う～メコン開発から見た環境と人権への影響」主催：メコン・ウォッチほか。内容は「ビルマ（ミャンマー）～日本の援助が軍政ではなく国民を支えるためには」等（人権教育啓発推進センター、23日13時半～）要申込

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165